

マンションにおける全員参加型の組織づくり

(団体名称:ブラウシア自主防災会)

活動内容

マンションの住民が自分ごととして防災力を向上できるよう、全員参加型の組織づくりを行っています。

【取り組み内容】

(1)人材育成

・マンションの各階(部屋数:10~25)に、安全確認や本部との情報伝達等を担う「班リーダー」を2~3名選出。「班リーダー」を毎年経験のない者に順次交代することで、8年で全部屋の住人に概ね1度は班リーダーを経験してもらい、マンション全体での防災体制への参加・人材育成を図っています。

(2)体制

・各階のパイプスペース内に「ファーストミッションボックス」を常設しておくことで、誰でも安否確認等の初動対応を迷わず迅速に行える体制を構築しています。
・各家庭での平常時からの備え(安否確認手段や備蓄品、防災関連情報の入手手段)と、各家庭での初動(自助)からマンションの防災体制(班や災害対策本部の仕組み=共助)などを簡潔にまとめた「防災のしおり」を作成し、全戸配布しています。

(3)防災知識の向上

・防災訓練の際、電気自動車からの給電やAED訓練、防災講話(及びグッズ販売)などをスタンプラリー形式で実施することで、各自在宅の備えについても知識取得する場を設けています。



【各階の安全確認の様子】



【ファーストミッションボックスの設置】

